

## りんくう総合医療センター滅菌等業務委託仕様書

### 1. 件名

りんくう総合医療センター滅菌等業務委託

### 2. 目的

りんくう総合医療センター（以下「病院」という。）の滅菌等業務及び院外滅菌等業務の実施に関して、医療機関における滅菌業務等の重要性に鑑み、業務の安全かつ確実な実施及び経営健全化・合理化のため、医療法第15条の3第2項により外部委託を行うもので、受託者については、医療法並びに医療法施行規則、医療法令等を遵守し業務を行うことにより、病院滅菌業務等の質の向上及び円滑な業務運営を図ることを目的とする。

### 3. 履行場所

大阪府泉佐野市りんくう往来北2-23

地方独立行政法人りんくう総合医療センター

ただし、院外センターでの滅菌等業務は、受託者の滅菌施設

### 4. 履行期間

令和7年4月1日～令和10年3月31日

### 5. 施設概要

(1) 標榜診療科：内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、眼科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、放射線科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科、消化器外科

(2) 病床数：388床 ① 一般病床 378床

(りんくう総合医療センター348床、救命救急センター30床)

② 感染症病床 10床

(3) 一日平均患者数：令和5年度（入院331.3人、外来825.3人）

(4) 手術室：7室 ※ハイブリッド室増室（令和6年6月1日より運用開始）

(5) 手術件数：令和元年度 4,469件

(りんくう総合医療センター 3,450件、救命救急センター 1,019件)

令和2年度 3,951件

(りんくう総合医療センター 2,959件、救命救急センター 992件)

令和3年度 3,996件

(りんくう総合医療センター 3,066 件、救命救急センター 930 件)  
令和 4 年度 3,800 件

(りんくう総合医療センター 3,125 件、救命救急センター 675 件)  
令和 5 年度 3,968 件

(りんくう総合医療センター 3,309 件、救命救急センター 659 件)

## 6. 業務日及び業務時間

### (1) 手術器械処理業務

#### ① りんくう総合医療センター

- ・ 通常勤務時間

月曜日～金曜日 8:30～21:00

- ・ 洗浄受付時間

月曜日～金曜日 8:30～20:00

※翌日 9:00 使用器械の最終受付時間 17:00

(土曜日、日曜日、祝祭日、夜間の洗浄及び滅菌業務は看護師による処理とする)

- ・ 連休出勤時対応 8:30～12:30

(12:30 以降の残処理については、看護師へ申し送りを行う)

- ・ 高圧蒸気滅菌装置の最終運転開始時間

月曜日～金曜日 19:30

- ・ 過酸化水素プラズマ滅菌装置の最終運転開始時間

月曜日～金曜日 19:30

- ・ 業者借用器械の受付期限 基本的に使用予定の 2 日前

#### ② 救命救急センター

- ・ 通常勤務時間

月曜日～金曜日 8:30～19:30

- ・ 洗浄受付時間

月曜日～金曜日 8:30～19:20

(土曜日、日曜日、祝祭日、夜間の洗浄及び滅菌業務は看護師による処理とする)

- ・ 連休出勤時対応 8:30～12:30

(12:30 以降の残処理については、看護師へ申し送りを行う)

- ・ 高圧蒸気滅菌装置の最終運転開始時間

月曜日～金曜日 19:30

- ・ 業者借用器械受付期限 基本的に使用予定の 2 日前

### (2) 病棟・外来業務

#### ① りんくう総合医療センター

- ・ 通常勤務時間  
月曜日～金曜日 8:30～17:30

### (3) 環境整備清掃業務

#### ① 救命救急センター

- ・ 通常勤務時間  
月曜日～金曜日 8:00～17:00
- ・ 清掃受付時間  
月曜日～金曜日 8:00～16:45

(土曜日、日曜日、祝祭日、夜間は看護師による処理とする)

※ 原則、勤務時間は上記時間とするが、業務完了時間により前後する場合あり。

※ 通常勤務時間前に業務完了となる場合は、手術室業務リーダーへ申し送りを行う。

## 7. 就業日

- ① 原則として、土曜日、日曜日、祝祭日を除く月曜日～金曜日までとする。
- ② 休日が3日以上連続する場合は、病院と受託者が協議の上、業務を行うものとする。

## 8. 業務概要

### (1) 手術器材処理業務

#### ① 使用済み器材の回収

- ・ セットメニュー表に基づいて手術室担当看護師が確認したものを回収し、再度破損、紛失等の確認を行う。(危険物やSUDは手術室担当看護師が廃棄する)
- ・ 不具合を発見した際は、手術室担当看護師へ連絡する。
- ・ 各洗浄方法に仕分けを行う。

#### ② 使用済み器材の洗浄

- ・ スタンダードプリコーションの概念に基づき洗浄を行う。
- ・ 器材の特性・材質を考慮し、適切な洗浄方法に分類し洗浄を行う。
- ・ 洗浄機内に洗浄剤が投入されているかを確認する。

#### ③ 洗浄済み器材の乾燥

- ・ カートに積載しダムウェーターで中央滅菌室へ搬送
- ・ 器材の特性・材質を考慮し、高温乾燥機、低温乾燥機にて乾燥を行う。

#### ④ メンテナンス、組立、作成

- ・ 錆や汚れが付着していないか確認を行う。  
錆が付着していた場合は、錆除去剤を用いて除去する。  
汚れが付着していた場合は、再洗浄を行う。

- ・ かみ合わせなどの不具合がないか点検する。
  - ・ 剪刀類は試し切りを行い、切れ味を点検する。
  - ・ セット類は、セットメニュー表に基づき作成する。  
セット作成後、ダブルチェックを行う。
  - ・ 単品類は、単品プレートを基づき作成する。
  - ・ 滅菌方法にあった化学的インジケータを挿入する。
  - ・ 整形外科用ドライバー類（MYKNEE ハンドピース、プレジジョン、システム7）の駆動チェック
- ⑤ 滅菌
- ・ 手術予定や在庫数を考慮し滅菌を行う。
  - ・ 器材の特性・材質を考慮し、滅菌方法を選択する。
  - ・ 包装毎にロット番号を貼り付ける。
  - ・ 生物学的インジケータを所定の位置へ設置する。
  - ・ 運転記録表へ必要事項を記入する。
- ⑥ 収納
- ・ 滅菌物の払出確認項目に沿って確認を行う。  
外部・内部インジケータ、滅菌有効期限、ロッドシール、コンテナのリードシール・フィルターの有無、滅菌バッグのシール圧着・破れ・ピンホール等
  - ・ 既滅菌室保管分は、所定の位置へ収納する。
  - ・ 手術室保管分は、カートに載せエレベーターで搬送する。
  - ・ 生物学的インジケータを培養し判定を運転記録表へ記入する。
- ⑦ 手術器材準備
- ・ 翌々日の手術予定表（オーダー表）をもとに、カート毎にセット類を積載する。  
外部・内部インジケータ、滅菌有効期限、ロッドシール、コンテナのリードシール・フィルターの有無、滅菌バッグのシール圧着・破れ・ピンホール等
  - ・ 積載後、オーダー表をカートに貼り付ける。
  - ・ 翌日手術分を手術室まで搬送する。（15:00 頃）
- ⑧ 業者借用器械
- ・ 手術室看護師、業者、受託者の3者で読みあわせを行う。（2日前納品のみ）但し、滅菌室の運用に著しく影響を与える状況が発生した場合は、随時協議を行う。
  - ・ 使用前洗浄を行う。（2日前納品分のみ）
  - ・ 写真をもとに、組立、作成、滅菌、払出を行う。

- ⑨ スリッパ洗浄
  - ・ 依頼があった場合のみスリッパを貸し出す。
  - ・ 使用済みスリッパは、洗浄・乾燥後に 4 階回収廊下に搬送し、受託者が供給を行う。
- ⑩ 体内埋没機械の発注、補充
  - ・ 使用後、手術室担当看護師が使用数量を記載し、使用済み器材と共に中央滅菌室へ返却する。
  - ・ 受託者が使用数と返却数を再度確認し、SPD 業者へ発注を依頼する。
  - ・ 納品後、数量確認を行い、補充する。
- ⑪ 麻酔器具の洗浄、組立
  - ・ 麻酔器具は基本的に洗浄処理のみ行う。
  - ・ 気管支ファイバーは、救命救急の洗浄機で洗浄し収納する。
- ⑫ その他
  - ・ 既滅菌室保管の滅菌物の期限切れチェック（毎月）
  - ・ 既滅菌室保管の滅菌物の棚卸（年 1 回）
  - ・ 手術室内クリーンホールの滅菌物の期限切れチェック（毎月）
  - ・ 手術室内クリーンホールの滅菌物の棚卸（年 1 回）
  - ・ 滅菌物数、滅菌器稼働回数、洗浄器稼働回数の集計
  - ・ より合理的な業務を行う為の提案
  - ・ 感染症センター内高圧蒸気滅菌装置の暖機運転及び B&D テストの実施（1 回/日）

## (2) 病棟・外来用器材処理業務

### ① 回収

回収時間 8:30～9:30

- ・ 受託者が各部署へ回収を行う。(1 回/日)
- ・ 口腔外科外来は、水・木・金曜日のみ一部セット器材の 2 回目の回収を行う。
- ・ Bブロックの 2 回目の回収は、病院職員が中央滅菌室まで搬送する。
- ・ 供給、回収が定期便に間に合わず処理が必要な場合は、部署間で直接やり取りを行う。
- ・ 各部署が記入した伝票と使用済み器材を回収し、再度破損、紛失等の確認を行う。(危険物や SUD は部署が廃棄する)
- ・ 不具合を発見した際は、部署へ連絡する。
- ・ 各洗浄方法に仕分けを行う。

### ② 洗浄、乾燥

- ・ スタンダードプリコーションの概念に基づき洗浄を行う。
- ・ 器材の特性、材質を考慮し、適切な洗浄方法に分類し洗浄を行う。

- ・ 洗浄機内に洗浄剤が投入されているかを確認する。
  - ・ 洗浄後、器材の特性・材質を考慮し、高温乾燥機、低温乾燥機にて乾燥を行う。
- ③ メンテナンス、組立、作成
- ・ 錆や汚れが付着していないか確認を行う。  
錆が付着していた場合は、錆除去剤を用いて除去する。  
汚れが付着していた場合は、再洗浄を行う。
  - ・ かみ合わせなどの不具合がないか点検する。
  - ・ 剪刀類は試し切りを行い、切れ味を点検する。
  - ・ 伝票に基づいて作成・組立を行う。
  - ・ セット類は、セットメニュー表に基づき作成する。  
セット作成後、ダブルチェックを行う。
  - ・ 滅菌方法にあった化学的インジケータを挿入する。
- ④ 滅菌
- ・ 在庫数を考慮し滅菌を行う。
  - ・ 器材の特性・材質を考慮し、滅菌方法を選択する。
  - ・ 包装毎にロット番号を貼り付ける。
  - ・ 生物学的インジケータを所定の位置に設置する。
  - ・ 運転記録表へ必要事項を記入する。
- ⑤ 収納
- ・ 滅菌物の払出確認項目に沿って確認を行う。  
外部・内部インジケータ、滅菌有効期限、ロッドシール、コンテナのリードシール・フィルターの有無、滅菌バッグのシール圧着・破れ・ピンホール等
  - ・ 既滅菌室の所定の位置へ収納する。
  - ・ 生物学的インジケータを培養し判定を運転記録表へ記入する。
- ⑥ 供給
- 供給時間 14:00～15:30
- ・ 伝票に基づいて、各部署パスボックスへ収納する。
  - ・ 滅菌物の払出確認項目に沿って確認を行う。
  - ・ 外部・内部インジケータ、滅菌有効期限、ロッドシール、コンテナのリードシール・フィルターの有無、滅菌バッグのシール圧着・破れ・ピンホール等
  - ・ 受託者が各部署へ供給を行う。(1回/日)  
伝票と供給数があっているか、病院職員と受託者が一緒に確認を行う。
  - ・ 供給、回収が定期便に間に合わず処理が必要な場合は、部署間で直接やり取りを行う。

- ⑦ 依頼物品
  - ・ 依頼伝票に基づいて、回収・洗浄・組立・滅菌・供給を行う。  
(呼吸器回路、スリッパ等)
- ⑧ その他
  - ・ 既滅菌室保管の滅菌物の期限切れチェック (毎月)
  - ・ 既滅菌室保管の滅菌物の棚卸 (年1回)
  - ・ 一部病棟・外来保管の滅菌物の期限切れチェック (毎月)
  - ・ 一部病棟・外来保管の滅菌物の棚卸 (年1回)
  - ・ 滅菌物数、滅菌器稼働回数、洗浄器稼働回数の集計
  - ・ より合理的な業務を行う為の提案
- (3) 設備機器の運転、記録業務 (別紙1参照)
  - ・ 高圧蒸気滅菌装置及び過酸化水素低温プラズマ滅菌装置等の滅菌及び関連業務に使用する機器を運転操作し、定期的に点検整備を行う。
  - ・ 異常を発見した場合は、病院職員にその内容を速やかに報告し、適切な処置を施す。
- (4) 院外センターでの EOG 滅菌業務
  - ① 業務内容
    - ・ 受託者の施設・設備を使用した、滅菌物品の院外 EOG 滅菌業務
      - ※ 滅菌物品見込 (別紙2参照)
      - ただし、数量は契約期間内の見込数量であり、実際数量は変動する。
    - ・ データー管理業務 (払出実績)
  - ② 集配日時
    - ・ 週3日
      - ※ 原則、月曜日・水曜日・金曜日とするが、病院と受託者が別途協議の上、決定するものとする。
      - ※ GW、年末年始は臨時配送を出す場合あり。
      - ※ 供給は、原則として、回収の翌々日とするが、至急の場合は翌日とし、別途費用は発生しないものとする。(月数回程度)
    - ・ 受託者が、定時に回収と供給を行う。
    - ・ 集配時間 9:30~11:00
  - ③ 対象器材
    - ・ 手術室及び病棟・外来で使用され、院内にて洗浄及び包装された EOG 滅菌を対象とする器材
  - ④ 滅菌条件
    - ・ 滅菌温度 55℃~60℃
    - ・ 滅菌時間 3時間
    - ・ エアレーション時間 10時間~12時間

⑤ 品質管理

- ・ 滅菌器の運転記録、化学的インジケータ、生物学的インジケータを紐付けし、滅菌器及び滅菌工程が定常的に有効性を維持していることを確認する。

(5) 環境整備清掃業務

① 救命救急センター【面積 330.28 ㎡】

(ア) 手術室

- ・ ゴミ、リネンの回収（危険物は除く）
- ・ ベッド、麻酔器、その他医療機器、アクセサリ類の清拭
- ・ （無影灯、ベッド、コラム、麻酔器、モニター、電気メス、カウンタ君、
- ・ メーヨ台、手台2個、支柱台、椅子、離被架、サカセカート）
- ・ 麻酔カートの清拭
- ・ ルーム内棚の清拭
- ・ ベッドコラムをセット固定し、ベッドにはめ込む
- ・ 床面の除塵・清拭
- ・ 壁の清拭
- ・ 機器類を定位置に配置
- ・ ベッドにラミシートをセット
- ・ 円座の設置
- ・ 吸引器へ新しいボトルをセット
- ・ カウンタ君にビニールをセット
- ・ 各ゴミ袋にビニール袋をセット
- ・ 終了時点検の実施（配置・セット・拭き残しなど）

(イ) アンギオ室

- ・ ベッド、その他医療機器、アクセサリ類の清拭
- ・ （透視台・ワゴン・カート・モニター・支柱台）
- ・ 棚の清拭
- ・ 床面の除塵・清拭
- ・ 機器類を定位置に配置
- ・ 透視台にラミシートをセット
- ・ 円座の設置
- ・ 終了時点検の実施（配置・セット・拭き残しなど）

(ウ) 初療 ※定期清掃は行わず、清掃依頼があった場合のみ

- ・ ベッド、その他医療機器、アクセサリ類の清拭
- ・ （ベッド、コラム、手台、モニター、モニター周辺の医療機器）
- ・ 床面の除塵・清拭
- ・ 清掃完了時に初療リーダーへ報告し追加清掃の確認

(エ) その他

- ・救命救急センターの日常清掃
  - ・アンギオ室の日常清掃
  - ・初療の日常清掃
  - ・中央滅菌室内の日常清掃
- 清潔エリアを除き、滅菌業務で使用する部屋の一般清掃
- ・ゴミの回収、分別、規定場所への搬送、ゴミ袋の補充
  - ・床の除塵、モップによる湿拭で床のゴミ取り
  - ・作業台の上拭き
  - ・滅菌器、洗浄機、乾燥機の管内清掃

(6) その他業務

- ・ 本仕様書に記載のない事項については、「医療現場における滅菌保証のガイドライン 2021」を遵守し、業務を行うこと。
- ・ 本仕様書に記載のない事項については、病院と受託者が協議の上、業務上必要な事項は怠りなく努めなければならない、業務上必要な事項は業務に含むものとし、契約金額の範囲内業務で対応すること。
- ・ 病院の運用体制の見直し及び医療情勢等による業務変更が生じた場合、委託業務や業務量の変動に対して費用の増減が生じると見込まれる場合は、病院と受託者が誠意をもって協議を行うものとする。

9. 滅菌物の品質確認

- ① 高圧蒸気滅菌器は、B&D テストを 1 回/日実施し、判定結果を記録する。  
(B&D テストを行う前に暖機運転を実施すること)
- ② 滅菌物に化学的インジケータを同封し、滅菌条件に到達したことを変色により確認する。
- ③ 運転毎に生物学的インジケータを積載し、培養試験を行い、結果を記録する。
- ④ 計器類や記録用紙による物理的確認を行い、滅菌装置が正常に稼動しているか確認する。
- ⑤ 被滅菌物の乾燥不良、破損、劣化、及び包装材の変形、劣化などを含む破綻が無い状態を確認する。

以上 5 項目の結果に異常が無いことを確認し、被滅菌物が安全であるという目安とする。

10. リコール対応

- ① リコール規定を遵守し、該当する滅菌物の回収・交換を行うとともに、リコール原因を追究し、発生原因を特定させるものとする。
- ② 滅菌保障の基準に基づき、滅菌不良と判断される、または、滅菌不良の可能性が

疑われる場合は、その該当する滅菌装置で行われた滅菌物を対象とする。

## 11. 委託条件

- ① 一般財団法人医療関連サービス振興会による医療関連サービスマーク「院内滅菌消毒業務」、「院外滅菌消毒業務」及び「院内清掃業務」の認定を受けていること。  
また、各認定の写し等を提出すること。
- ② 滅菌及び関連業務に関して、十分な経験・知識及び法令上必要とする資格を有するものを受託業務責任者として配置すること。
- ③ 受託業務責任者は、当該業務に関し 3 年以上の実務経験を持つ正社員で、一般社団法人日本滅菌業協会認定資格である『滅菌管理士』または日本医療機器学会が認定する『第 2 種滅菌技士』の資格を有する者とする。
- ④ 滅菌及び関連業務に関して、十分な知識・経験を持ち、且つ法令上必要とされる『普通第一種圧力容器取扱作業主任者』の有資格者を 2 名以上配置すること。
- ⑤ 円滑に且つ速やかに業務を履行できる体制を確保すること。
- ⑥ 業務従事者名簿の写し（有資格者については資格を証する書類の写しも含む。）を提出すること。また、業務従事者に変更があった場合はその都度業務従事者名簿を提出すること。
- ⑦ 業務従事者に対して継続的に教育・指導を行い、業務レベルの統一化を図り、洗浄・滅菌業務の質の向上に努めること。また、病院が主催する医療安全対策や感染対策等に関する研修会には、毎年全員が参加するよう努めること。
- ⑧ ロボット手術機器を取り扱う者に対して、メーカーが定めたロボット手術（ダヴィンチ）洗浄講習又はメーカー講習を受けた施設での講習を受講すること。
- ⑨ 未経験者を配置する場合、業務就業前に一定の教育・訓練を受けさせること。
- ⑩ 滅菌及び関連業務に関して、標準作業書及び作業マニュアル等を備え、病院が要求する運営に柔軟に対応できること。
- ⑪ 病院が対応するすべての感染症患者（新たな感染症を含む）に使用した手術器材処理については、病院指示のもとすぐに対応すること。
- ⑫ 滅菌及び関連業務に関して、災害及び病院の滅菌関連設備等の故障が発生した場合、緊急対策としてバックアップの行える自社滅菌センターを保有していること。
- ⑬ 滅菌及び関連業務に関して、病院の設備が故障等で使用が困難な場合は、自社滅菌センターの滅菌設備等を使用して滅菌業務を行うこと。また、その際の費用等については、病院と受託者で別途協議するものとする。

## 12. 受託者の責務

- ① 守秘義務
  - ・ 個人情報保護の重要性を認識し、法令、ガイドライン、病院の定める個人情報保護規定等の規範を遵守すること。

- ・ 委託業務遂行にあたり、個人情報保護に関する指示に従うこと。
  - ・ 契約期間満了後に於いても、業務上で知り得た情報を第三者に漏洩しないこと。
- ② 法令等遵守
- ・ 業務を遂行するにあたり、関係法令を遵守し、患者のサービスに努めなければならない。また、業務中は病院規律に従って行動すること。
- ③ 信用失墜行為の禁止
- ・ 病院の信用を失墜させる行為をしてはいけない。
- ④ 健康管理・感染対策
- ・ 受託者は、常に業務従事者の健康管理に注意し、業務従事者の健康診断を年1回以上実施すること。なお、これらの費用については受託者の負担とする。
  - ・ 受託者は、病院の院内感染対策マニュアルを熟知すること。病院と受託者は相互に協力し、感染防止に必要な情報交換を行い、院内感染防止に努めること。
  - ・ 受託者は、院内感染防止のため、B型肝炎、麻疹、水痘及び流行性耳下腺炎の抗体検査を実施し、その結果、陰性または低抗体価と評された者にはワクチンを接種させること。また、受託者は検査結果及びワクチン接種の状況について病院に報告書を提出すること。なお、これらの経費（検査費用及びワクチン接種等）は受託者の負担とする。
  - ・ 受託者は業務従事者にインフルエンザの予防接種を1年に1回接種させ、ワクチン接種費用は受託者の負担とする。
  - ・ 感染症等の疾患に罹患した者、または病院の定める特定症状が認められる者を業務に従事させてはならない。また、その旨を速やかに病院に報告し、病院の指示に従わなければならない。
- ⑤ 施設管理運営業務
- ・ 施設管理運営上必要な事柄への参加については、病院と受託者が協議の上、決定するものとする。
  - ・ 異常発見の際、病院職員にその内容を速やかに連絡し適切な処理を行うこと。
- ⑥ 設備機器管理
- ・ 受託者は、業務の実施にあたり、設備機器に損害を与えず、その運転等に支障をきたすことがないよう万全の措置をとらなくてはならない。受託者の責めに帰す理由により設備機器に損害を与えたときは、直ちにその旨を病院に届け、その賠償の責を負わなければならない。
- ⑦ 受託業務責任者
- ・ 業務従事者をよく統率し、業務従事者の知識の研鑽に努めるとともに、業務改善を図ること。
  - ・ 滅菌室長と協議し、円滑な業務の推進、業務効率向上及び経費削減に努めること。
  - ・ 受託業務責任者が不在となる場合もしくは勤務しない日は、あらかじめ同等の

能力・経験を持つ代行者を指名し勤務させること。

⑧ 協力

- ・ 専門的知識・実績・経験を有する受託者は、常に問題意識をもち、積極的な情報や知識を提供し、業務分析を通して効率化の具体策を随時提案し、実行すること。
- ・ 受託者は、手術室看護師の業務の効率化及び負担軽減のため、業務の改善に資する提言・助言を行うこと。
- ・ 病院において行われる病院施設の改修及び機器更新などにより、業務内容または業務量に変動が生じた場合、受託者は誠意をもって対応すること。

⑨ 業務代行保証

- ・ 停電、火災、業務停止等何らかの事情により、業務の全部または一部の遂行が困難と判断した場合、受託者は速やかに業務代行保証を行うものとする。緊急時に迅速な対応を行うため、滅菌代行保証については、受託者は自らの施設もしくは個別の業者等による代行保証を確保しておくこと。また、その際の費用等については、病院と受託者で別途協議するものとする。

13. 損害賠償責任

受託者は、業務の遂行及び引き継ぎにおいて、業務怠慢、故意又は重大な過失により、病院又は第三者に損害を与えた時は、その損害を賠償しなければならない。また、受託者は賠償責任損害保険に加入し、その写しを病院に提出すること。

14. その他

(1) 業務日誌の提出

病院の了解を得た様式に必要事項を記入し、病院に提出し承認を得ること。

(2) 定期及び臨時のミーティングの実施

受託者は業務及び運用等について、滅菌室長と定期及び臨時にミーティングを行うこと。

(3) 報告義務

① 受託者は、業務遂行上故意又は過失により、病院又は第三者に損害を与えた時は速やかに調査を実施し、病院に報告を行うこと。

② 針刺し・切創等の事故が発生した場合は、院内感染対策マニュアルの規定に従うこと。なお、検査・各種薬剤投与等の費用については受託者の負担とする。

(4) 費用負担

① 院内滅菌業務等、及び手術室関連業務に必要な設備・機械等は病院が負担する。病院保有設備にかかる保守管理費用も同様とする。

② 現在病院の所有物（器械等）の更新時は、本業務の合理化、病院の経営効果も考慮し、病院と受託者で別途協議し定めるものとする。

③ 病院内での受託業務履行上必要とされる備品・消耗品及び水道光熱費は病院の負担とする。但し、業務従事者の教育・健康管理及び業務履行上必要とされる調査・報告等に係る費用については受託者の負担とする。

④ 業務従事者の被服費（受託者のユニフォーム、クリーニング）及び駐車場については受託者の負担とする。

(5) 業務計画

受託者は業務の実施前に業務計画書を作成し、病院に提出し承認を得ること。

(6) 業務引継

受託者は業務を開始するにあたり、業務の内容、特性、数量、処理方法等を示した書類及び発注者または前の受託者との打ち合わせ等の方法により業務が円滑適正かつ確実に進めるよう受託者の責任と経費負担により引継ぎを行うこと。

15. SUD（シングルユースデバイス）の取り扱い

SUD製品（シングルユースデバイス）は、再滅菌しない。どうしても必要な場合は、病院の責任下で行う。

16. 疑義の解釈

本仕様書及び契約書に記載のない事項に関しては、病院と受託者が協議して定める。

## 設備機器一覧

令和6年9月現在

設置場所	配置場所	設備機器名	メーカー	型名	台数
りんくう総合医療センター	中央滅菌室	高圧蒸気滅菌装置	サクラ精機	VSCR-G12W	2台
りんくう総合医療センター	中央滅菌室	プラズマ滅菌装置	J&J	ステラッド100S	1台
りんくう総合医療センター	中央滅菌室	プラズマ滅菌装置	J&J	ステラッド100NX	1台
りんくう総合医療センター	中央滅菌室	ウォッシャーディスインフェクター	GETINGE	86シリーズ	2台
りんくう総合医療センター	中央滅菌室	超音波洗浄機	エスエヌディ	US-100N	1台
りんくう総合医療センター	中央滅菌室	システム乾燥機（高）	アスカメディカル	ASK-1200DH	1台
りんくう総合医療センター	中央滅菌室	システム乾燥機（低）	アスカメディカル	SD-410	1台
りんくう総合医療センター	中央滅菌室	バックシーラー	ホギメディカル	HS-400	1台
りんくう総合医療センター	中央滅菌室	バックシーラー	ホギメディカル	HS-750	1台
りんくう総合医療センター	中央滅菌室	ヒートシーラー	ASP	HS1000	1台
りんくう総合医療センター	中央滅菌室	培養器	ASP	BIOTRACE	1台
りんくう総合医療センター	中央滅菌室	培養器	ASP	VELOCITY	1台
りんくう総合医療センター	4階回収廊下	ウォッシャーディスインフェクター	GETINGE	56シリーズ	1台
りんくう総合医療センター	4階回収廊下	チューブ乾燥機	サクラ精機	TUK-51	1台
救命救急センター	中央材料室	高圧蒸気滅菌装置	サクラ精機	VSSV-AM09	1台
救命救急センター	中央材料室	ウォッシャーディスインフェクター	GETINGE	56シリーズ	1台
救命救急センター	中央材料室	減圧沸騰式洗浄器	三浦工業	RQ-50S	1台
救命救急センター	中央材料室	乾燥キャビネット	GETINGE	363	1台
救命救急センター	中央材料室	内視鏡洗浄機	オリンパス	OER-3	1台
救命救急センター	中央材料室	シーラー	ASP	HS1000	1台

## EOG滅菌対象物品

	物品名	見込数量(3年)
1	ECMO鉗子(放科)	17
2	PCPS用チューブ鉗子(放科)	12
3	アブラネーションチップ	193
4	アングルワイダー 大	52
5	エア-Qアッシャー(OP)	11
6	エアウェイ	25
7	エアウェイ(放科)	16
8	エクスチェンジャー(OP)	20
9	エステル綿 50g (OP)	33
10	エスマルヒ 小 (OP)	203
11	エスマルヒ 大 (OP)	445
12	エスマルヒ(小)	57
13	エスマルヒ(大)	75
14	エラストティックブジー(OP)	21
15	エリック(OP)	105
16	オハサビアン(OP)	15
17	オムツ(L)(放科)	20
18	オリンパス P6(OP)	242
19	オリンパスP5(OP)	18
20	オリンパスカメラヘッド(OP)	60
21	オルテックス	87
22	オルテックス 2 (OP)	64
23	オルテックス 3 (OP)	56
24	カップ(放科)	65
25	カップ	46
26	カテーテル(放科)	16
27	カテホルダー(放科)	18
28	キュレット(放科)	11
29	クラネオフィックス(OP)	42
30	クリアホルム(OP)	29
31	ケーブル(放科)	1,865
32	コード	22
33	コード(放科)	266
34	コンタクトジェル	36
35	サージカルスチール(OP)	22
36	サフイード吸引カテーテル	11
37	サフイード吸引カテーテル (OP)	917
38	シート	14
39	シェーパー(OP)	14
40	シャープスカウンターソフト	311
41	シャーレ	46
42	シャーレ(フタ付)	14
43	シャクソン用カフ(放科)	104
44	シュリンゲ用ワイヤー(OP)	194
45	スタイレット	12
46	ステリスリップ【SS】テープ	12
47	スプレー ノズル	273
48	スプレーノズル	95
49	スプレーノズル(二重ハック)	82
50	スポンジ付棒(放科)	222
51	タイカンテープ(中)2本 (OP)	17
52	タイカンテープ(中)4本(OP)	15
53	ダイヤモンドバー(OP)	33
54	ダイレーター	78
55	ダイレーターセット	17
56	タニケット(OP)	59
57	タニケットホース(OP)	12
58	ダブルルーメン用エクスチェンジャー(OP)	68
59	チューブ	131
60	チューブホルダー(OP)	23
61	テープ	63
62	テストハック	26
63	ニッパ	29
64	ネオハフ回路	136
65	バー	75
66	バーセット(歯科用)	41
67	バーネットプローブ(1.0mm)OP	16
68	バーネットプローブ(2.0mm)(OP)	15
69	ハイトブロック	27
70	バイポーラ鑷子(OP)	11

	物品名	見込数量(3年)
71	バッテリー(OP)	42
72	ビニール袋	25
73	ファイバー用ハイトブロック(OP)	23
74	フジチューブ(内視)	539
75	プレハート(OP)	70
76	フローセンサー	117
77	ペイシエントユニット	543
78	ベッサリー 59mm	32
79	ベッサリー 77mm	24
80	ベッサリー 85mm	12
81	ベッサリー 90mm	17
82	ベッサリー(50mm)	26
83	ベッサリー(53mm.)	20
84	ベッサリー(55mm)	17
85	ベッサリー(56mm)	40
86	ベッサリー(60mm)	27
87	ベッサリー(62mm)	25
88	ベッサリー(65mm)	103
89	ベッサリー(68mm)	37
90	ベッサリー(70mm)	22
91	ベッサリー(71mm)	58
92	ベッサリー(74mm)	33
93	ベッサリー(75mm)	23
94	ベッサリー(80mm)	32
95	ペンシルタイルーター	21
96	ペンローズ	119
97	ホース	121
98	ボタン	36
99	ボット(OP)	1,725
100	マダージェット 先端 EOG	17
101	マジヤー	15
102	メデイマット	1,345
103	モノポーラ(先端)	14
104	ラジオペンチ	25
105	ルートキヤナル 青白 2本組	16
106	レーザー金属挿管チューブ(OP)	14
107	ろ紙	512
108	ろ紙(OP)	13
109	ワニ口コード(放科)	168
110	安全ピン	78
111	安全ピン(OP)	27
112	下垂体2弁スベキュラコード(OP)	11
113	回路	65
114	開口器	231
115	眼科用ビニール(OP)	200
116	吸引ホース	33
117	胸腔ドレナージセット	135
118	研磨バーセット	107
119	呼吸弁	138
120	呼吸器回路(放科)	88
121	光源コード (OP)	66
122	搾乳器	577
123	搾乳器 部品	71
124	糸(黒)3-0	52
125	小児用アンビューハック	19
126	小児用テストハック	42
127	人工骨(OP)	53
128	腎盂尿管ファイバー(OP)	45
129	生検鉗子	29
130	青カーゼマット(放科)	990
131	接続ホース(OP)	25
132	注射式脂肪吸引セット(OP)	19
133	爪切り	35
134	電気メスコッド(OP)	16
135	電池(OP)	16
136	脳室分離用ホルダー(OP)	38
137	脳表電極(OP)	13
138	白トレイ(放科)	58
139	覆布【オイフ】	14
140	保温ドレープ	17
141	木片 (OP)	106
令和7年度～令和9年度 合計		16,980